



きら 煌めく人^{たち}

「両親と共に養殖業をしていきたい」

竹本 健吾^{けんご}さん（新和町中田・29歳）

新和町の中田地区でタイやブリなどの養殖業を両親と共に営んでおり、祖父の代から続いていて3代目になる。竹本さんは、高校を卒業後迷わずにこの仕事を選んだ。「ひたむきに取り組んでいる両親の姿を見て、家業を継ぐ」と決心した」と話す。

養殖の技術はかなり進歩しており品質は向上しているものの、依然として買い手側の取引価格は安く、生産者より買い手側の方が強いことを嘆くが、一番の心配は、不景気により魚の消費量が激減していること。「魚の良さを知ってもらい、一人でも多くの人に、もつとたくさん魚を食べてもらいたい」と訴える。

県内の養殖業者が全盛期に比べ半分近くに減っており、「このままでは10年後はもっとと少なくなってしまうのでは」と心配する。竹本さん自身、養殖だけでなく、漁に出ることを考えなければならぬと感じている。しかし、両親の姿を見てはじめて養殖の仕事、その魅力も知っており、「何事も前向きに考えて、両親と一緒にこれからも頑張っていきたい」と力強く語った。



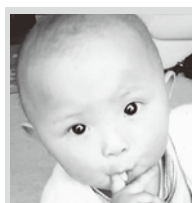
永田 敬照^{けいしょう}くん・凌誠^{りょうせい}くん

浜崎町
父・彰さん 母・依保さん
双子なのに性格が正反対な2人です。仲良く育ってください。



山田 心彩^{こころ}ちゃん

川原新町
父・大樹さん
母・孝子さん



いちごにアイス、ごはんが大好きです。元気に育ってね♡



原田 夢叶^{ゆめか}ちゃん

志柿町
父・裕介さん
母・美香さん

たちが上手になったよ。いつも兄ちゃんの後ろをついて行くよ♡



川口 紗也^{さや}ちゃん

本渡町本渡
父・拓也さん
母・真由美さん

いつも笑顔で、元気いっぱい!! 大きな声だって出せるよー。



林 光里^{ひかり}ちゃん

本渡町本渡
父・浩一さん
母・真希さん

いつもニコニコ、力持ちの光里です。元気いっぱい大きくな〜れ♪



松元 魁汰^{かいた}くん

東町
父・和敏さん
母・まきさん

寛人兄ちゃんが好きです!!



松川 鈴奈^{すずな}ちゃん

楠浦町
父・敏史さん
母・里美さん

いつもにこにこ元気! あいかお姉ちゃんに負けないよう育ってね♡



濱崎 明音^{あかね}ちゃん

有明町大浦
父・研吾さん
母・幸美さん

あかり姉ちゃん大好き!! これからもいっぱい遊ぼうね♡



鬼塚 浩誠^{こうせい}くん

楠浦町
父・俊行さん
母・恵子さん

一華姉ちゃん、これからも仲良くしてね!! 大〜好き♡♡

6月で満1歳になるお子さんを募集します!
●応募期限=5月11日⑨まで(必着)。
●応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

いま 現代に 息づく 歴史の証

「楠浦の眼鏡橋」(楠浦町)

この橋は、楠浦〜宮地往還を結ぶために方原川に架けられたもので、明治11年(1878年)6月11日に起工、同年8月29日に完成しました。発起人である楠浦村庄屋・宗像堅固氏は、江戸時代における楠浦村最後の庄屋役であり、この橋は釜の迫の堀切とともに、宗像氏の遺徳を後世に伝える二大事業の一つとされています。

石材には国指定重要文化財の祇園橋(船之尾町)と同様、下浦石が使用され、石工は下浦の松次、打田の紋次、足場杵組大工は和田



▲美しいアーチを描く
県重要文化財の「楠浦の眼鏡橋」

茂七が携わったといわれています。橋全長26.33m、橋幅3.1mの優美な単一アーチの石橋で、全体的に壁石が薄く、アーチ中央部が輪石のみで構成されているのが特徴です。その姿は当時の美しさを現在もよくとどめており、平成18年に県の重要文化財に指定されました。

地域ぐるり コーナー

人が動く
地域が動く
天草が動く

地域財産をいかした活性化への取り組み

一町田地区振興会(宮本春志^{はるし}会長)

河浦町の一町田地区振興会では、コレジオ公園一帯が桜やツツジ、菜の花の美しい三重奏で彩られるこの時期に「二町田さくらまつり」を開催しています。

今後、古楽器を使った演奏会や地域の特色をいかした商品開発にも取り組み、地区内外の人々にさらに見て楽しんでもらえる活動を目指したいと思っています。

昨年、「第1回青少年音楽祭」を行い、子どもたちの演奏会や商工会、地区女性部のバザーのほか河浦高校の生徒による苗物販売でにぎわいました。本年度は、さらにグランドゴルフ大会も実施し、子どもから高齢者まで参加できるような幅広い取り組みに発展しつつあります。



▲青少年音楽祭で演奏する河浦中吹奏楽部